



Be a gift to the world

2015-16年度 国際ロータリー第2790地区(千葉県)

ガバナー月信

地区行動目標：原点を知り、考える



第8回2015-16 (ガバナー補佐・地区委員長連絡会議) / 三井ガーデンホテル千葉 2016.4.9

よい継続

あと僅か・・・

2015-16年度も残すところ1ヶ月です。事実上は次年度がもう始まっています。よく「櫻木年度もあと僅かですね」と言われます。しかし、そうでしょうか？

櫻木年度？

宇佐見年度、櫻木年度などとガバナー名で年度を言う事があります。その年度のガバナーの顔や人となり迄もイメージとして思い起こされ、より実感が湧いて具体的な事柄が思い出されるのかもしれない。しかし、私は2014-15とか2015-16などの数字で表す方がいいと思います。

個人的な見解は

ガバナーはロータリーへの個人的な見解や考え方をあまり強く出してはいけない存在だと思っています。地区はRIからガバナーに一年間だけ預けられたものであり、自分個人のロータリー解釈を前面に出して運営をする事は慎むべきだとも思っています。余談ですが、それ故に年度の最後になってこの6月号の原点シリーズで少し私のロータリー解釈を書きました。

変わらぬ理念で

ロータリーは誰がガバナーであっても変わらぬ理念の元での活動を続ける組織です。今年は右に、来年は左にと解釈や方向性が違っては迷惑するのはクラブです。これではクラブの活性化を支援するというガバナーの職務に反します。

理念の難しさ

ガバナーが守り、遂行すべき事はRIの方針です。ロータリーの理念に添った範囲内の事を地区内に奨励普及する事です。しかし、

ロータリーの理念が人によって解釈が違う。クラブ、地区、RIの関係などの解釈も各々違う場合があります。そして自分の解釈だけが正しいと思込む事もあります。

正しい解釈とは？

色々ある解釈でどれが正しいかを究めなければなりません。その拠り所は…歴史と組織規定と章典でしょう。それを自分独自の色の目で読むのではなく、素直に読んで行間を探る事が大事だと思います。時にはコペルニクスの転回のみで原典を読んでみる事が必要だと思います。今まで考えなかった解釈に気づくかもしれません。

よい継続

櫻木年度の次は青木年度、その次は寺嶋年度と言ってもロータリーの根本は変わらずに今後も続いて行く事でしょう。そのあととずっとそうあってもらいたいものです。

ガバナー候補

私の最終の地区目標は「ガバナーが出易くする事」です。多くの人がロータリーに興味を持ってガバナー候補になって頂きたいと思えます。地区組織の側でもこの方向に向けてガバナーの受入れ態勢の検討を継続して頂きたいと思えます。

御礼

一年間、この巻頭ページと「原点を知り、考える」シリーズに、思うままに勝手な事を書かせて頂きました。これはガバナーの役得でしょう。読んで下さった方々に御礼を申し上げます。

国際ロータリー第2790地区
2015-16年度ガバナー

櫻木 英一郎



ロータリーは難しいか？

国際ロータリー第2790地区
2015-16年度ガバナー 櫻木英一郎
(千葉RC)

■利益を得る商売と奉仕がどうして結びつくの？

・・・職業奉仕

これはあるクラブを訪問した時のクラブ協議会の質疑応答で出た質問です。実に素朴な質問だと思います。そして、実にロータリーを誤解した質問だと思います。誤解と表現するのは真剣に質問したご本人には大変失礼な事ですが、ではどこが誤解でしょうか？それは、奉仕が利益を得てはいけなと考える事です。奉仕＝無償の奉仕だと考える事です。こう考える人が大変に多いと思います。

■奉仕は無償ではない

奉仕の概念は4月号で書きました。奉仕をすればprofitが返って来るんです。奉仕の原語は英語のserviceで、日本でサービスがタダだと思うのは日本人であり、外国でのserviceは多くは有償です。店が商品売る行為も、ホテルがお客様に利便を提供する行為も皆serviceです。そして当然、提供側は利益を含んだ対価を得ます。serviceは無償でなくてもいいんです。奉仕＝無償という呪縛から解放されることがロータリーを易しく理解する第一歩です。ロータリーのserviceは有償とか無償とかいう概念で考えるものではありません。

■ロータリーに於けるserviceとは？

ロータリーにserviceという概念を持ち込んだのはシェルドンです。彼は商売（対価をもらってserviceを提供する事）を研究するビジネススクールを経営していました。そして、利益を上げている多くの企業の経営姿勢を調べた結果、ある結論を得ました。それは、売り手だけが儲けるのではなく、買い手にも利益と満足を与えている事です。シェルドンはこの考え方を商売人の集まりであるロータリーに紹介しました。

■設立当時は商売がメイン

設立当初のシカゴRCは主に商売を目的とした人の集まりでした。ロータリーに入れば信頼できる会員同士で安心して原価で商品が仕入れられる。これを求める商売上の利益追求の人の集まりでした。し

かし、小数ながら他の人に寄与する事が大事だと考える人たちもいました。商売に於いてはお客様や従業員、取引先への配慮です。また、地域社会への寄与を主張する人もいました。シェルドン、カーター、ペリーなどです。ポール・ハリスもこの考えに同調しました。

■serviceで商売

やがてロータリーの会員は急増し、シカゴのみならずサンフランシスコ、オークランドなどの西海岸に4クラブ、次にはニューヨーク、ボストンなど東海岸にも広がりを見せました。これに連れてシェルドンのservice「相手の立場に立って考える」は広まりました。お客様の立場に立って商売をすれば会社が永続し、しかも儲かるぞという事だと思います。この考え方に当時の多くの会員は感動したとの事です。

■ロータリーは商売だけではなくなった

やがてロータリーでは商売で自分の利益を求める人達より、他への寄与を考える人が多くなり、これがロータリーの活動の主流になりました。この段階でやっと今のロータリー活動の原型が出来ました。ここでシェルドンのservice「相手の立場に立って考える事、他への寄与を考える事、自分だけではなく他の人にも利益を分かち事」がIdeal of Service（serviceという考え）としてロータリー活動全体の基本理念となりました。商売の為のmottoが幅広いロータリー活動全体のmottoに昇華した訳です。

■五大奉仕の考え方

このように「serviceという考え」をあらゆる活動の基礎にして、これを発揮する事がロータリーの目的（Object）です。自分がserviceの心を以てクラブ活動をすればクラブ奉仕、自分がserviceの心を以て商売をすれば職業奉仕、自分がserviceの心を以て社会的な活動をすれば社会奉仕、自分が、serviceの心を以て国際的な活動をすれば国際奉仕、自分がserviceの心を以て青少年に対して活動すれば青年奉仕、、、というように。

■どの道を通っても

これが五大奉仕 (5 avenue of service) と呼ばれる概念です。どのavenueを通ってもロータリーのserviceの実践です。このように考えればロータリーも五大奉仕も易しく考えられると思います。ついでに言えば五大奉仕はどれが主でどれが従だというものではありません。全てが自分個人の活動だから。また、定款第5条には順位付けはありません。

■職業奉仕は儲かる！！

最も難解と言われる職業奉仕の考え方は・・・serviceの心を以て商売する事です。具体的には自分だけが儲けるのではなく関係者にも応分の利益をもたらす事です。もっと具体的に言えば、お客様、仕入先、従業員、商売関係者、会社の周囲や世間などにも何らかの利益があるように心掛けながら商売をする事です。これに徹すれば信用も上がり商売はうまく行き、結果として儲かります。だから職業奉仕で儲かるんです。

■職業奉仕は江戸時代から

日本には江戸時代からこの商売道徳がありました。だから日本のロータリアンにはシェルドンや職業奉仕が馴染深く、もてはやされるのだと思います。もっと別な理由も考えつきましたが、別の機会に譲ります。

■原点を知り、考えて・・・ロータリーを易しく理解する

以上は私がロータリー史をじっと見つめて、歴史事実を順を追って考えて得たロータリー解釈です。これが「原点を知り、考える」であり、その結果の「ロータリーを易しく理解する」に続きます。しかし、これが正しいかどうかは判りません。これも私が考えついた一つの解釈です。

■多くの解釈が

多くの人が多くの解釈を持ってよいと思います。職業奉仕が基本だという考え、社会奉仕が重要だという考え、国際活動が、人道的活動が、人間の修練が、などなど、色々な考えが出来ます。しかし、ロータリーの解釈に於いてはガバナーは個人的な見解を強く出すべきではないと思っているので、年度の最後、月信の最終号に私の解釈を書きました。これを肴にして皆さんのロータリー談義が盛んになってくれる事を希います。



1年を振り返って

国際ロータリー第2790地区
地区幹事長 梶原 等
(千葉RC)

地区幹事長として、一人のロータリアンとして過ごした1年の感想を述べさせていただきます。

始めに、櫻木ガバナーと84クラブの内50か所のクラブを随行者として訪問させていただき感じた事です。この2790地区には84通りの充実したクラブ例会があるということです。各クラブ共、設営・進行など様々でした。創意工夫された例会の様子は、「ロータリーは例会に始まり、例会に終わる」正にそれを拝させていただいた次第です。

2700地区(福岡・佐賀・長崎)のガバナー事務所に表敬訪問し、同地区本田正寛ガバナーの所属クラブ福岡RCの例会にも出席させていただきました。バナーの交換もさせていただきました。今迄のロータリーライフでは考えられない事です。このような経験は地区幹事長の役得であったと思います。

又、昨年6月にブラジルサンパウロでの国際大会に参加した時には10数年ぶりに偶然にも取引先(大宮RCメンバー)と再会。そして土屋PDG始め2790地区内の大勢のロータリアンと会うことが出来ました。地球の裏側で同じ地区メンバーにお逢いすることが出来、とても嬉しく感じました。今でもとても良い思い出です。

研修会においては普段は参加する事の出来ない地区以外での第1. 2. 3ゾーンのロータリー情報研究会や会員基盤セミナーなどに出席し、各地区の奉仕活動の状況を直接感じる事が出来ました。このゾーンセミナー参加はとても良い刺激となり今後のロータリー活動のヒントにさせていただきます。

最後に山田研修リーダー、関口サブリーダー、宇佐見副ガバナーには数々の助言とご指導を賜りありがとうございました。そして、地区運営を支えて下さったパストガバナーの皆様・ガバナーエレクト・ガバナーノミニ・ガバナー補佐・地区委員長・委員の皆様・地区幹事団・事務局の皆様ありがとうございました。地区内84ロータリークラブの会長、幹事、メンバー・事務局の皆様にも大変お世話になりました。御礼申し上げます。

更には、この貴重な機会を与えて下さった櫻木ガバナーと千葉RCの皆さん本当にお世話になりました。

皆さん、もし地区の役職を受ける機会があった時には迷わずにその役を受ける事をお勧めします。きっと輝かしいロータリーライフが待っています。



1年を振り返って

第1分区ガバナー補佐
浦安ベイRC 醍醐 誠一

櫻木ガバナーの強力なリーダーシップと分区内の会長、幹事さんに支えられ、どうにか任期を全うすることが出来ました。感謝申し上げます。

今年度は昨年度に引き続き「原点」という言葉がテーマとして使われました。こうしたことから、先ず地区研修委員会から発行された「ロータリーを理解しよう」と2690地区発行の「わかりやすいロータリー」を読むことから始めました。

このことで私自身がロータリーの価値を再認識すると同時に自分の役割が明確になりました。

ご存知のとおり、RCのシンボルマークは歯車ですが、この歯車は車や機械など様々なところで部品の一つとして使用されております。

これらの歯車の一つでも欠損しますと故障の原因となり全体が稼働しなくなってしまうます。私たちも歯車の一つであると考えますと、一人ひとりが大きな役割と責任を担っていることを改めて認識致しました。

私事ですが「東京マラソン」フルを完走しました。67歳のランでした。50歳になってからジョギングを始めましたが、続けているうちにフルを走れるようになりました。「継続は力なり」という言葉がありますが、実感いたしました。

ロータリー活動もいろいろとありますが、継続していくことによって、個人も組織も力量がついてくるものと考えます。

ガバナー補佐に就任したことで、いままでにない素晴らしい仲間に出会えたことに感謝です。



1年を振り返って

第2分区ガバナー補佐
船橋西RC 前田 昌男

ガバナー補佐を経験して感じたことは、次の三点に要約されます。

一つ目は改めてロータリーを学ぶ機会となったこと。RIとの距離感を当たり前のことと習い、ロータリーに携わってきた私であるが、ロータリーの基本を再確認する機会となった。

クラブから地区やRIを見るのと地区の立場から自クラブや区内クラブを見るのでは距離感やスタンスが異なることが分かる。我々はRI、地区の構成員であることに加えてロータリークラブ定款15条に記載の通り、ロータリーの目的を受諾し、定款に拘束されることを受諾して会員になっていると認識しなければいけない。

二つ目は第2790地区でも各クラブの置かれている状況が異なる中で地区方針やテーマを定めて組織運営することの難しさを感じたこと。様々な事情を抱えたクラブで構成された地区でのガバナー方針は概念的にならざるを得ない。従って櫻木ガバナーが実践されたように丁寧に会員にRIとの関係、地区とクラブの関係、ロータリーへの理解を深める材料を示すことが有効であったと思う。ロータリーと言う組織を運営する上で時として解釈が分かれたり、全く異なる価値観を持つロータリアンと出会うこともあるが、それも含めてロータリーなのであろう。

三つ目は第2分区では幸い会員増強（3月現在、18名増）の成果を上げているが、「入会間もない会員」を育てると言う視点では共通の課題があると感じたこと。研修の重要性は疑いのないところであるが、当然のことながら方法論では意見が分かれる。少なくとも例会に出席していれば理解できるものではない。体系的に学ぶ・経験的に学ぶ・自主的に学ぶことを三位一体として先輩会員の経験を交えて伝えることが大切。委員会活動も委員長だけが活動しているのでは人は育たない。様々な活動に参画して初めて知ることができるのであり、聞いた話や読んだ話はすぐに忘れるものである。新しく入会した会員が様々な活動に参画して、ロータリーを学び、ロータリーに疑問を持ち、ロータリーについて調べてロータリーを知ることができたら素晴らしいと思う。この一年、ロータリーを学ばせて頂いたことに感謝したいと思います。



1年を振り返って

第3分区Aガバナー補佐
千葉西RC 山本 康昭

ロータリーに入会以来32年が経過したというのは、突然のガバナー補佐就任の要請を受け、当初は本当に戸惑うばかりで、不安なうちにスタートを切りましたが、1年を経過しようとする今、貴重な経験が出来たと実感するに至りました。

櫻木ガバナーのロータリーに向けた心の丈を理解するにつれ、今までとはだいぶ趣を異にする運営がスタートすると予期はしましたが、年度当初のインターシティー・ミーティング「IM」の開催計画の準備段階から、その思いを強くしました。

まさに櫻木ガバナーの「ロータリーの原点を知り、考える」の行動目標に沿った基本に貫かれた年度計画と実践には戸惑う事も多くありましたが、改めて「ロータリーとは何ぞや」を勉強し直す良い機会となったのは事実です。

世界のロータリー活動の現状を理解し、ラビンドランRI会長の方針に意を得た櫻木ガバナーのその後の活動は、現状のままではロータリーの衰退を招くとの危機感を持ち、使命感に燃えた実践であったと理解します。

公式訪問等でしばらく振りに分区内の各クラブを訪問させていただきましたが、この狭い分区内でも多種多様にクラブ運営がなされている事に、今更のように驚きましたし、基本にある各クラブの悩みや課題の一端を窺い知ることが出来たのも、貴重な体験でした。

また、何より貴重なのは、ガバナー補佐のお役を引き受けたために、改めて多くの会員の方々と知り合えたことは何よりの宝となりました。

櫻木ガバナーと梶原地区幹事、そして各クラブの会長・幹事の方々のご協力に感謝し、各クラブの益々の発展を本紙上をお借りして念じて止みません。

ありがとうございました。



1年を振り返って

第3分区Bガバナー補佐
千葉緑RC 郭 福男

第3分区Bのロータリアンの皆さん、こんにちは。日頃より、地区そして各分区内の奉仕活動にご協力賜りまして誠に有難うございます。

今年度も残すところわずかな日時となりましたが、この一年を振り返りガバナー補佐としての感想を述べさせていただきますと思います。

早いもので2015年～2016年、地区よりガバナー補佐を任命され、一年の任期が終了しようとしておりますが、今になり私はガバナー補佐としての仕事について何か忘れていない事はないのか？などと心配したり、又、もう任期が終わるのかとホッとしたりもしております。

任期中のガバナー補佐の仕事をざっと見てみると、7月に任期が始まり8月インターシティーミーティングの開催、それに伴う諸準備、打合せ、9月より櫻木英一郎ガバナーによるクラブ公式訪問、その準備にガバナー補佐の各クラブ訪問、10月から地区による各種セミナー、ガバナー補佐・地区委員長連絡会議、月に一度の合同幹事会等々かなりの仕事量でした。ガバナー補佐に限らず地区役員の方々もお忙しいとは思いましたが櫻木ガバナーに於かれましては、その数倍に及んでお忙しかったのではないかと感じております。ガバナーは柔ではできませんね。

この時期忙しい思いはしてはしておりましたが多くのロータリアンの皆さんと知り合い、又仲間となって頂き貴重な経験をさせていただきました。それは又、楽しい日々でもありました。

これからは次年度の分区Bの会長幹事、ガバナー補佐さんとの新旧交代の打合せ等を残すところですが、先に申しました様に何か忘れ物でもないかと気がかりなところもあります。忘れ物がありましたらロータリー精神でお許し願いたいと思います。

今年度分区Aの大先輩、山本康昭ガバナー補佐、千葉西RC野口会長、藤崎幹事にご協力賜り有難うございました。

地区に於きましては梶原等幹事長、各地区委員長、同僚の2790地区のガバナー補佐の皆様お世話になりました。

そして我が分区のロータリアンの皆さんご協力賜り有難うございました。

重ねて御礼申し上げます。

最後に櫻木ガバナーご指導有難うございました。そしてご苦労さまでした。



1年を振り返って

第4分区ガバナー補佐
富津RC 神子 恒

「この1年間、ガバナー補佐としてここまで続けてこれましたのも母体クラブの後押しのお蔭です。」の書き出しで始まりますと、何やら平凡な感が致しますが差にあらず、クラブ全員の多大な協力無くして私の活動は出来ませんでした。又クラブを超えた第4分区の皆さん本当に有り難うございます。皆さんの協力無くして務める事は適いませんでした。お蔭様を持ちまして何とか年度の終了が近くなり、先ずは安堵の気持ちでいっぱいな今の私です。私のクラブ歴は26年を迎えようとしておりますが、過去25年のクラブ歴と、この1年間ガバナー補佐としての時を振り返り比べた時に忘れる事のない、何と中身の濃い1年になって居る事なのかと思いました。何故ならば第4分区の皆さんとの交流、他分区のガバナー補佐の皆さんとの交流は、私がロータリアンで有る証、自信になり今後のロータリー活動を続ける原動力になると私は確信して居ります。誠に以って手前勝手な思いに捕らわれている私ですが、此の1年の活動は皆様のお蔭で、私は大変な勉強をさせて頂きました。今身に感じるこの想いは何なのだろうと不思議さを感じるような次第で唯々感謝の気持ちでいっぱいです。

最後に2790地区の隆盛発展・ロータリー活動の活性・クラブの皆様の健康・平和を祈念致し偏に感謝の気持ち想いをもちましてゞさせて頂きます。



1年を振り返って

第5分区ガバナー補佐
鋸南RC 吉岡 諭史

早いもので2015年7月よりガバナー補佐に任じられてより早や、余すところ2ヶ月となりました。スタートダッシュ宜しく、7月の中旬には県下13分区での2番手としてインターシティーミーティングが開催されまして、慌ただしさの中での船出でした。

が、これも“1日でも早くクラブ会員の皆さんに直にお会いして本年度の方針をお伝えして共に年間活動のより一層の充実を”との櫻木ガバナーの一念が私たちを先導して下さいましたものと存じます。

私も分区幹事共々、二人三脚で6クラブを出来るだけ訪問させて頂きました。

クラブの大小こそあれ、それぞれのクラブはその歴史を有し、その伝統を守り地域の文化を大事にしながら活動なさっておられる姿を拝見致しました。

ほとんどの地域が高齢化や人口減少の真っ只中にあります。これから先の活動目標も自ずと軸足の向きが定まって参りましょう。現況に通じる事、通じない事の見極めを大切にして変化への対応をするクラブの強い意志が期待されます。

分区活動では至らない事ばかりでした。各クラブの皆さんには多大な迷惑をおかけしてしまいましたが、“ロータリーの友情と友愛の心”にてご容赦願います。

この1年間皆様のご支援、ご協力に心から感謝と御礼を申し上げます。

共に頑張りましょう。そしてロータリーを楽しみましょう。



1年を振り返って

第6分区ガバナー補佐
成田空港南RC 土屋 俊夫

2016規定審議会の報告を読みますと、今後各ロータリークラブが組織変更についての対応に迫られると思います。ロータリークラブの組織が大きく変化する予感がしますが、大変な議論を経たのち最終的にはロータリークラブ定款等に落とし込む事になります。ロータリークラブ定款等は今期のガバナー公式訪問の際かなり櫻木英一郎ガバナーが詳しく説明いたしましたので対応はできると思います。

次に後半持ち上がりました分区の分割案です。第6分区にとり9クラブは多いためガバナー補佐がガバナーの負託に耐えられないという問題です。しかしながら問題は各クラブにガバナー補佐が直接、クラブの本質的な事に関与する事は出来ないところにあります。これらの一つの対応方法は、会長幹事会を強化した組織するに事あると思います。会長幹事会で発生した議案にガバナー補佐が積極的に関与した後、各クラブ会長幹事と共同で解決する方法が良いのではないかと思います。クラブ数が多い弱点を、団結力で乗り切れるかどうかには賭けるのも一方だと思います。失敗しても失うものは何もありません。他のプランでも良いですが、要は独立不羈の精神で自ら組織の強化を実行するかどうかです。

以上1年を振り返り現在感じていることを述べさせていただきます。

最後になりましたが2回のIMを開催して第6分区の皆様にも余分な負担をおかけいたしました事にお詫び申し上げます。また櫻木英一郎ガバナー以下地区の関係者、分区内各クラブの皆様、所属の成田南ロータリークラブの皆様の協力には大変感謝申し上げます。いろいろと学ぶ事の多い一年間でした。ありがとうございました。



1年を振り返って

第7分区ガバナー補佐
銚子東RC 黒田 幸一

思い起こせば、サンディエゴ国際協議会の現地報告が櫻木英一郎ガバナー（当時エレクト）より届いた時は、「いよいよ始まるのだな」と心引締る気がしたのを思い出しました。

ロータリー在籍21年を、自分なりにすごして来た私にとっては、補佐を受けたことは、ロータリアンとして、一つの節目に感じました。

以来、銚子駅発、特急しおさい10時18分に乗り補佐会議や地区委員会に出席し、地区の多くの方と知り合うことができ、お蔭様で周年行事にも参加することができ、ロータリー活動を満喫しました。

櫻木ガバナーの意気込みを感じたのは、IMの早期開催でした。

会長幹事会をふりかえってみますと、第7分区4クラブは、会員数を40名前後とほぼ同数の会員を要し、かくある事に同等に事業を協力して行ってきました。

長年の積み重ねが、会長幹事会でも反映し、直ぐに協力体制が整いました。

会長幹事会において、7月のIMをパート1とし、2月のIMをパート2とすることが決まり、二回の開催において重厚なIMとなったのではないのでしょうか。

また、会長幹事会の開催場所をホストクラブに限らず開催し歓迎されました。

あらためまして、第7分区の会長幹事の皆様に、この場をお借りしまして、御礼申し上げます。

櫻木ガバナーお疲れ様でした。そしてお願いです。分区の再編成が取りざたされていますが、確かに地区として見れば必要不可欠ですが、地方のロータリーの特徴を鑑み、お願いする次第です。

櫻木ガバナー年度の補佐として参加し、宮内博補佐幹事そして銚子東クラブの皆様とともに、今年度を終えること、今綴りながら感無量です。



1年を振り返って

第8分区ガバナー補佐
佐原香取RC 篠塚 茂樹

2014年7月に第8分区の2015～2016年度のガバナー補佐として分区から御指名を頂き、準備を開始しました。具体的には2014年10月4日に千葉市内のホテルに於いて、RI2790地区の次年度ガバナー補佐会議が開催され出席いたしました。任期1年とはいえ、約8カ月余り前から活動が始まりました。ロータリーは国際的組織であるため、世界中のロータリーのゾーン、地区、クラブの組織がロータリーの意義、目的を共有するためには、年度毎のRI理事会始め、各地区のガバナーは其々の地区に対する事務連絡が多大であると感じました。

年が明け2015年2月22日は地区大会が開催され、1年後は自分たちに責任がある地区大会になるという自覚を新たにいたしました。

ロータリーのことをさらに知る必要があると感じ、2015年4月9日のロータリーリーダーシップ研究会（RLI）に参加し、ロータリー以外のことについても大変勉強になりました。

又、4月29日はいよいよわれわれの年度の行事の地区協議会が千葉市幕張のホテルにて開催され出席し、8分区の会員の皆様にご迷惑をおかけすることがないようにと再認識いたしました。

3月7日のガバナー補佐会議に於いて櫻木ガバナーの方針として、IMの早期開催と新年度早々に地区の全会員の皆様にロータリーに対する考えを伝えたいとお話があり、当8分区では2015年8月2日に旧佐原市内の会場でIMを開催し、ガバナーに出席して頂きました。

8分区へのガバナー公式訪問は年度当初の2790地区公式訪問日程表のとおり2015年11月11日までに4クラブ全てガバナー出席のもと開催させて頂きました。

ガバナー補佐の立場になりロータリーに対する関心が更に高まりました。感謝。



1年を振り返って

第9分区ガバナー補佐
白井RC 伊藤 仁

ガバナー補佐を受けて1年が経とうとしています。分区の会長幹事さん、会員皆さんにあたたかいご協力をいただき大変ありがとうございました。

振り返って見ますと、就任の挨拶と同時にインターシティーミーティングのお願いをして廻りました。

年度早々に開催することになり慣れていないなかでの設営にも関わらず皆さんにご協力いただき無事終了することができました。

終了後は、ガバナー公式訪問に備え一週間前に補佐公式訪問をし、ガバナーをお迎えしました。補佐公式訪問で各クラブを訪問して、今までは分区内クラブでも自分のクラブ以外の事は関心がありませんでしたが、補佐をさせていただいたおかげで各クラブの内容を知る事になり、私にとってロータリーの勉強になったように思います。

私が考えるに、ガバナー補佐をやるチャンスがある時には、よろこんでやったほうが良いと思います。

1年間、本当にありがとうございました。



1年を振り返って

第10分区ガバナー補佐
柏西RC 榎 隆夫

これまで、地区の委員も経験したことのない私が、ガバナー補佐を務まるか、はなはだ心もとない状況のなか、年度が始まりました。

幸い10分区は、柏、我孫子、二市の5クラブで、比較的まとまりのある分区で、各クラブの会長、幹事さんにも、地区からの要請の連絡等また、分区独自の運営等にご協力、ご支援をいただきました。

ガバナー補佐として、ガバナーの想いを、地区の願いを十分伝えて、補佐としての役割を果たしたか、はなはだ心もとない思いですが、私としては、国際ロータリー、地区、分区のことを考えるいい機会となりました。

ガバナー補佐として、分区のいろいろな会合で、国際ロータリー、ロータリー財団に対する、私なりの考え方を話させていただきました。特に、グローバルな時代の中で、会員一人一人がどう財団と関わってゆくのか、どう関わるべきかを話させていただきましたつもりです。

櫻木ガバナーは、これからの地区を考えられて、ガバナー事務所の固定化、ガバナーがより選出しやすくなる分区の在り方等、改革の方向性を示されました。私としても、基本的に賛同するものです。

地区事務所とガバナー事務所が一体となっている利点はあると思いますが、ガバナーが変わるたびに、幹事、事務局員が変わることは、地区の一体性、指導の継続といった面で、やや難点があると思います。

最後になりましたが、何かとお世話になりました、ガバナー、地区幹事の皆様、分区内の会長、幹事、そのほか、お世話になりました皆様に感謝を申し上げます。ありがとうございました。貴重な経験をさせていただきました。



1年を振り返って

第11分区ガバナー補佐
佐倉中央RC 橋岡久太郎

櫻木英一郎ガバナー年度にガバナー補佐を務められました事は、ロータリアンとして幸せな時間でした。

年度初めに、櫻木ガバナーよりIM形式による解りやすい講話を頂き、分区内7クラブのメンバーが改めて、ロータリーの素晴らしさを実感できました。

また今年度は、習志野中央ロータリークラブの創立30周年と同クラブの提唱されている習志野中央ロータリーアクトクラブの25周年の記念例会が盛会に催され、分区内の7クラブの協力応援の優しさにも触れることができました。

当11分区は、良き慣例で地区のガバナー補佐委員長会議の翌週には、7クラブの会長幹事会を開催し、櫻木ガバナーの思いや考え、RI情報、地区の方針等を迅速にお伝えいたしました。

7クラブの会長幹事の方々には愉しく優しくご一緒させて頂き心より感謝いたしております。

結びに、ガバナー補佐を務めます際に、自らがクラブ会長をいたしました時のガバナー補佐でいらした崎山征雄パストガバナーの偉大さを思いますと、はたして務まるのかと不安がよぎりましたが、幹事役を務めてくれました磯貝美乃会員、野池尚美会員のお二人と、自クラブ佐倉中央ロータリークラブのメンバー全員の寛大な支えのおかげで無事に年度末を迎えることが出来ました。

感謝と御礼の気持ちでいっぱいです。

第11分区7クラブの更なるご発展とご繁栄を心より祈念いたします。



1年を振り返って

第12分区ガバナー補佐
松戸西RC 杉浦 昌則

2015-16年度もいよいよ最後の月となりました。櫻木ガバナー、梶原幹事長、地区委員の皆様、各分区のガバナー補佐の皆様には大変お世話になりました。そして第12分区各クラブの会長、幹事はじめ会員の皆様、至らないガバナー補佐でしたが良くお付き合い頂き、心から感謝申し上げます。

かつて自クラブの幹事・会長の任を頂いた折には、とりあえず自分のクラブの事を優先して考えていれば良いと考えておりました。ガバナー補佐との立場の決定的違いは、分区あるいは地区に頻繁に出向かなければならないという現実です。それまでは自分の恥で済んでいたことも、今度はクラブの「恥」、「分区の面汚し」と言われてはたまりません。

そこで始めたのがマーカーペンを片手に「手続要覧」を読み込むことでした。読めば一応は理解できます。でもすぐ忘れます。そこで少しずつですが、繰り返し読むしかありません。「ガバナー月信」や「ロータリーの友」もそれまでとは違った気分で取り組みました。

以前よりは若干ですがロータリーの事を理解し始めると、これがとても面白いということに気づかされました。ロータリーの110年に亘る歴史の中で、先人たちの知恵が凝縮した「ロータリーは宝の山」という言葉が、まさに実感として伝わってきます。身近な自分の分区、あるいは自クラブにも素晴らしい先輩たちが必ずいるはずで。

ロータリアンの義務に、出席・会費納入・雑誌の購読というのがあります。「購読」とは文字通り買って読むということです。読まなければ会員の資格が無いと言われそうです。

ガバナー補佐を1年やらせて頂いて最も強く感じたことは、未来ある若い会員たちに、「ロータリーの中に、自分だけの宝を見つけて下さい。」ということです。視野と視点を少しだけ動かしてみると、見える世界が全く変わっていくかも知れません。期待しています。



1年を振り返って

第13分区ガバナー補佐
野田RC 古谷 尊生

ガバナー補佐として右も左も分からない中で、何度かの研修と予定者会議を経て2015-2016年度がスタートいたしました。

櫻木ガバナーをはじめ、梶原地区幹事長を中心とした地区スタッフの皆さんのご指導のおかげで、何とかガバナー補佐としての役割を全う出来たかなと、一年を振り返って思っております。

今年度櫻木ガバナーは、RI会長ラビンドラン氏のRIテーマである「Be a gift to the world」「世界へのプレゼントになろう」のもと、「原点を知り、考える」という地区行動目標を掲げ、「ロータリーをやさしく理解する」という事を地区方針の一つとして、3大セミナーを通して訴えてきており、その方針のもと、従来のIMや公式訪問についても大胆な改革を訴求し、年度始めから各分区ごとのIMにガバナーが訪問して、これらのテーマや地区目標を会員に直接話しかけ、意見交換を行いました。

これは、実に効果的なものであったと、分区内でも高い評価を受けております。

続けて各クラブへの公式訪問が行われ、その間地区大会や公式行事等がありましたが、予定者段階を含めて10回もの会長幹事会を開いて対応し、各クラブの相互の信頼関係と親睦を図る事が出来たかなと考えております。

最後に、一年間ご指導を賜りました櫻木ガバナーをはじめ、地区スタッフの皆様方に心より感謝を申し上げます報告といたします。

ガバナー月信第11号と第12号は、櫻木英一郎ガバナーと5名の委員が忌憚のない座談会を開催した報告文の発表としました。一年間掲載の場を頂き、委員会活動ができましたことに感謝しています。

ロータリー理念研究委員会 海寶 勘一
(千葉西RC)

◇松田泰長 (成田RC)

皆さんは「ロータリー活動とは？」と自問したとき、なにを基にどの様に考えますか？

我々がロータリアンとして何時も接しているものとして、第一標語「超我の奉仕」はロータリアンとしての心の置き方、第二標語「最も奉仕するもの、最も報いられる」は実践倫理として、また「四つのテスト」は常日頃の行動指標として誰もが耳にしています。最近のロータリーの方向性が変わってきたと耳にしますがなぜ問題視されるのでしょうか。それは「変えてはいけないもの」までが変えられつつある事です。昨年10月のRI理事会でロータリアンの行動規範第5項目「事業や職業における得点を、他のロータリアンに求めない」が削除され、今年からグローバルリワードプログラムがスタートしました。世界中の企業に呼びかけロータリアンが利用したときには割引を提供する、提供する側はこの制度による売上アップになる、売上の一部をロータリー財団に寄付してください、と言うものです。100年前のまだ未成熟だった互惠団体に戻ってしまった感さがあります。また4月に開催された規定審議会では大きな採決がなされました。入会金の撤廃、定款の「例会と出席規定」と「会員身分」についてこれらの規定・要件をクラブ細則で定めればそれは定款の規定・要件に優先するなど、クラブの構成と運用はクラブで決めても良いですよ、と変わろうとしています。ロータリーに入会して良かったことをもう一度考えてみましょう。ロータリーは例会を通して、奉仕活動に参加することによって親睦と友情が生まれお互いが刺激し合い自分磨きが出来る場所であり、「ロータリーはひとづくり」と言われる由来です。この環境を維持し更に磨き上げる事が私たちの使命です。クラブ内で、分区内で、更に地区内でたくさんの意見交換をしてください、地区では今まで以上にそれらの機会を企画しています、自分たちのクラブに最善のスタイルを見つけるチャンスです。決して安易な方向に変化しないように気をつけなければいけません。

◇海寶勘一 (千葉西RC)

ロータリー理念研究委員会の発表は、各委員が関心をもったテーマを研究(勉学)し文章発表してきました。その目的はあくまでも、委員同士が信頼をもって肅々と学び合う切磋琢磨であり向上心そのものでした。当然のこと各クラブへの波及効果の示唆

となることを願い、最終号の記述前に、櫻木ガバナーを交えた座談会で意見交流しました。この一年間、5名の委員が研鑽し学んだ研究発表はロータリーの歴史に沿った基本的な理念にスポットを当て、各自が愚直に発表してきました。委員会が分かち合う共通理念は、真のロータリー精神であり、自己磨きをする為の探究心であり、毎週あるクラブ例会の秩序と品格でした。礼節をもってお互いを思い遣る心がクラブ例会から生まれ、尊敬と敬意をもって信頼できる仲間作りを自負する人が真のロータリアンであると信じます。クラブ管理や奉仕活動に尽力するエネルギーと同様に、常にロータリー精神の涵養を心得て、努力に励む必要が望まれます。真摯になって同じ立ち位置で語りあうロータリアンは、もっともっとロータリーの魅力を掘り起こし、真のロータリー精神を享受すべきです。ロータリーの原点である理念を心得るために、様々なロータリー談義を日常的に行うことも肝心です。気軽にロータリー談義を楽しむ心がけは貴重で価値があります。ロータリー理念はすべてに人間性を高めることに通じ、他人のことを親切に思い遣り、他人のために無欲で尽くせる奉仕活動の実践に力強く花開きます。お互いが職業を矜持し尊敬し合うロータリアンの姿は垂涎されますし、理論と実践、親睦と奉仕の均衡が不易として身に付きます。ロータリーの基本理念である、「超我の奉仕」と「最も良く奉仕をするもの、最も多く報いられる」この二つのテーマを咀嚼し、ロータリアンの指針である「ロータリーの目的」と「四つのテスト」の奉仕理念を御旗としたいものです。ROTARY理念を大切な至宝と自負することから「入りて学び出でて奉仕する」ことができる、品格高く品性豊かなロータリアンを矜持したいものです。



ロータリー理念研究委員会

委員長 海寶勘一 (千葉西)
副委員長 平山勝巳 (千葉若潮)
委員 大内 啓 (柏南) 島 正彦 (館山)
松田泰長 (成田)

文庫通信(344号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約2万4千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

ロータリー情報

- ◎「Rotary Magic」 江崎柳節 2016 12p (D.2710 月信地区大会特集号)
- ◎「ロータリーにおける意志と信頼」 ビチャイ・ラタクル D.2550 2015 43p (D.2550地区大会記念講演)
- ◎「ポール・ハリスとロータリー」 諏訪昭登 2016 7p
- ◎「入り手学ぶ奉仕の心」 安孫子貞夫 2016 4p (D.2800 月信)
- ◎「ロータリーは円形ではない。楕円形である。」 塚原房樹 2016 1p (D.2510 月信)
- ◎「転轍手待望論」 塚原房樹 2016 2p (D.2510 月信)
- ◎「クラブ定款は自分のクラブ独自のものか？」 櫻木英一郎 2016 1p (D.2790 月信)
- ◎「ロータリーの目的 その1～4」 深川純一 2015 4p (純ちゃんのコーナーPartXIV)
- ◎「決議23-34」 東大阪みどりR.C. 2016 2p (ロータリーの歴史に学ぶ)

[上記申込先：ロータリー文庫]

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15黒龍芝公園ビル 3階 TEL(03)3433-6456・FAX(03)3459-7506
<http://www.rotary-bunko.gr.jp> 開館=午前10時～午後5時 休館=土・日・祝祭日

(公財)ロータリー米山記念奨学会ニュース (ハイライトよねやま194号)

～今月のトピックス～

- ・寄付金速報 — 残り2カ月もよろしく願います —
- ・熊本地震に学友からの支援が続々
- ・博士号取得状況 — ご報告お待ちしております —
- ・ソウル国際大会では、米山ブース&分科会へGO!GO!

【お知らせ】

今後開催される海外米山学友会総会のご案内

トピックス詳細につきましては、下記アドレスにてご覧ください。
http://www.rotary-yoneyama.or.jp/summary/pdf/highlight194_pdf.pdf

《今月のピックアップ記事》

熊本地震に学友からの支援が続々

4月14日と16日、熊本県熊本地方で震度7を観測する大地震が発生しました。被害を受けた皆さま、今なお避難生活を余儀なくされている皆さまへ、心よりお見舞い申し上げます。

第2720地区(熊本・大分)米山記念奨学委員会は、同地区米山学友会と連携し、すぐに現役奨学生と学友会メンバーの安否を確認して、全員と連絡を取ることができました。奨学生・学友の中には自宅が損壊し一時的に避難生活を送った人もいますが、現在は安全な場所に移っています。

このニュースに米山学友が続々と支援に立ち上がりました。

まだ余震がつづく20日、米山学友のジギャン・クマル・タパさん(2008-09/横浜たま RC)らは「ネパール大地震の恩返しをしたい」と、神奈川県から熊本市まで電車を乗り継ぎ、在日ネパール人の皆さんとともにカレー炊き出しをしてくださいました。

第2640地区(和歌山・大阪)米山学友会では21日、義援金30,000円を第2720地区「ロータリー熊本地震総合支援室」へ送金していただきました。

中国米山学友会(上海)からは27日、「かつてお世話になった日本のロータリーへ復興の手助けをしたい」と、学友たちが出し合った194,894円が当会へ送金され、全額を当会から第2720地区の上記支援室へ送金しました。

また24日には、第2720地区米山学友会が大分市内7クラブ合同ロータリーデーにてバザーと募金活動を行い、全額の156,945円を熊本へ寄付しました。大分県のみなさんもまだ不安が続くなかでの活動です。同学友会の全紅女会長は、「みんなの温かい気持ちが熊本に届き、これからの復興に少しでも役に立つことができれば……」と、祈りを込めて話してくださいました。

皆さんのお気持ちに感謝いたします。

3年目のロータリーコーディネーターを終えるに当たり

第2ゾーン ロータリーコーディネーター 金杉誠

国際ロータリーは2010年に会員数の伸び悩みを打破すべく戦略計画を策定し、その計画に基づき諸施策を実行してまいりましたが、残念ながらこと会員数に関する限り未だ十分な成果を上げたとは言えません。勿論私自身コーディネーターとしての実力不足、努力不足を反省しなければいけないのですが、最後に感じたことを申し述べたいと思います。

そもそもロータリー活動と言うものは本質的に自発的なものであり、強制されるべきものではないので、クラブには大きな自主権が認められております。CLPにせよ、クラブ戦略計画にせよ、実行しなければロータリークラブとして認めないと言うことではない、むしろ本年度の規定審議会の結果を見れば、クラブ自主権は拡大される方向にあるとも言えます。

では会員増強の為にどうしたら良いのかと言えば、「我々は何故ロータリアンであり続けるのか？ロータリーの魅力とは何か？」と言う設問に対しての、地区やクラブのリーダーの皆様方の発信力を磨くということに尽きるのではないかと思います。上記の設問に対するしっかりとした回答を、地区やクラブの皆様方一人一人に良くお考えいただきたい、そしてそれをしっかりと集約して頂きたい、それが地区やクラブの戦略計画策定の最大の目的なのではないかと思います。

得てして日本人は保守的な傾向が強い、そして「和をもって尊しとなす」に表されるように突出した意見や急激な改革を好まない傾向があるように思われます。もちろんその良さもあるのが日本の社会ではありますが・・・。現在のような少子高齢化や、中央一極集中が急激に進展し、格差が開いてきている状況では、いつまでも前例踏襲では困るのではないのでしょうか？前例踏襲を打ち破るためにもリーダーの皆様方の徹底した話し合い、即ち戦略計画策定が必要なのではないのでしょうか？

良く考えますとこの問題は決してロータリーだけの問題ではない、むしろ今の経済社会状況の閉塞感を考えれば、日本全体の問題ではないかと思う次第であります。もともとロータリーはその特徴的な「職業奉仕」の精神によって、日本の経済社会に与えた良い影響は大変大きいと思います。そのように考えていくとき、ここにこそ日本のロータリーの進むべき新しいフロンティアが見えてくるような気がしてなりません。曰く、若者や女性や退職高齢者の入会を促し、地方やわが町を活性化するために努力し、より合理的で生産性を向上させて少ない会費で効果を上げる、これはそのまま、一億総活躍社会の実現であり、地方創生運動であり、生産性の向上による経済の活性化であります。つまるところ、ロータリーにせよ、日本全体にせよ、求められるのはイノベーションであります。私たちが社会に対して負っております責任を思い起こし、ロータリーの再興と日本社会の再興に向かって立ち上がろうではありませんか！その為にはクラブの一人一人の勇猛心を期待して最後のご挨拶したいと思います。長いこと有難うございました。

寄付者紹介（敬称略）

ロータリー財団寄付 年次寄付（マルチプル・ポール・ハリス・フェロー）



田中 喜博
(上総RC)
4回目



吉野 昭一
(茂原RC)
4回目



吉田 広行
(千葉幕張RC)
3回目



鶴野 航三
(八日市場RC)
3回目



五十嵐博章
(千葉南RC)
2回目



栗原 崇次
(茂原RC)
2回目



足立 俊夫
(茂原RC)
2回目



竹内 達
(茂原RC)
2回目



宇野佐太夫
(八日市場RC)
2回目



大塚 榮一
(八日市場RC)
2回目



鈴木 英人
(八日市場RC)
2回目



関 鉦基
(八日市場RC)
2回目



佐々木勝彦
(茂原RC)
1回目



寺田 憲司
(茂原RC)
1回目



山田 則彰
(茂原RC)
1回目

(ポール・ハリス・フェロー)



三浦 章
(上総RC)



三谷 徹
(茂原RC)



渡邊 宏
(茂原RC)



高山 鍊正
(茂原RC)

恒久基金（ベネファクター）



鎌田 俊郎
(茂原RC)
1回目



平野 正憲
(八日市場RC)
1回目



秋葉 幸男
(茂原RC)
1回目

米山功労者



金親 博榮
(千葉南RC)
7回目



野村 進一
(上総RC)
6回目



秋葉 幸男
(茂原RC)
5回目



平野 正憲
(八日市場RC)
5回目



清水 俊雄
(茂原RC)
4回目



天明 信一
(上総RC)
3回目



齋藤 弘之
(船橋西RC)
2回目



長原 正夫
(成田RC)
2回目



田丸 方敏
(上総RC)
1回目



山内みどり
(茂原RC)
1回目



最首 利光
(茂原RC)
1回目



保川 和弘
(茂原RC)
1回目



小川不二夫
(八日市場RC)
1回目



川口 京子
(八日市場RC)
1回目



萩原 幸雄
(八日市場RC)
1回目



大久保要治
(八日市場RC)
1回目



野口 雅子
(東金RC)
1回目

新ロータリアン（敬称略）



三村 邦裕
(旭RC)
大学教授
4月1日入会



齋藤 和彦
(成田コスモポリタンRC)
人材派遣
4月1日入会



柴田 実
(八日市場RC)
地方銀行
4月5日入会



佐久間 亮
(佐倉RC)
自動車修理
4月7日入会



伊場 寛人
(松戸北RC)
貯蓄銀行
4月12日入会



大原 浩史
(松戸西RC)
弁護士
4月12日入会



藤川 崇
(柏RC)
不動産賃貸
4月13日入会



川和 利行
(柏RC)
包装資材・製造販売
4月13日入会



板津 守
(柏RC)
行政書士
4月13日入会



箕輪 満
(柏西RC)
証券業
4月15日入会



三橋 哲夫
(千葉南RC)
自動車小売業
4月15日入会



高橋 二郎
(柏RC)
警備保障
4月22日入会



西山 肇
(君津RC)
鉄鋼製造
4月25日入会



松井泰次郎
(君津RC)
窯業
4月25日入会



新井 正一
(君津RC)
地方銀行
4月25日入会



吉田 雅彦
(君津RC)
生命保険
4月25日入会



堀 哲也
(袖ヶ浦RC)
都市ガス製造
4月25日入会



遠藤 靖
(千葉RC)
都市再開発
5月9日入会



大桃 守
(船橋みなとRC)
損害保険
5月10日入会

R I 第2790地区 (千葉) 2016年 4 月出席・会員数報告

分区分区	クラブ名	出席率 %	例数	会員数				
				7/1	女	当月	女	増減
第1分区分区	市川	100.00	4	39	0	41	0	2
	市川東	100.00	4	41	0	41	0	0
	市川南	85.00	4	16	2	17	2	1
	浦安	88.00	4	35	1	36	2	1
	市川シビック	89.32	4	36	0	36	0	0
	浦安ベイ	78.00	4	16	0	14	0	△ 2
平均	90.05	4.00	30.50	0.50	30.83	0.67	2	
第2分区分区	船橋	88.89	3	23	0	29	0	6
	船橋西	91.31	4	41	7	40	7	△ 1
	鎌ヶ谷	84.17	4	29	2	32	2	3
	船橋東	80.53	4	28	1	31	2	3
	船橋南	86.36	4	14	2	16	4	2
	船橋みなと	90.14	3	17	4	21	5	4
平均	86.90	3.67	25.33	2.67	28.17	3.33	17	
第3分区分区A	千葉	90.23	4	66	1	75	2	9
	千葉西	85.16	4	50	0	52	0	2
	千葉中央	93.68	4	59	4	58	3	△ 1
	千葉中張	78.51	4	37	0	34	0	△ 3
	千葉幕張	77.94	4	35	2	38	2	3
	千葉東潮	86.81	4	31	3	34	4	3
千葉若潮	73.15	4	30	1	31	1	1	
平均	83.64	4.00	44.00	1.57	46.00	1.71	14	
第3分区分区B	千葉南	84.17	4	49	6	54	7	5
	市原	84.25	4	41	2	41	2	0
	千葉港	70.65	4	21	2	25	2	4
	市原中央	79.87	4	47	2	50	2	3
	千葉北	69.05	4	21	1	22	1	1
	千葉緑	79.37	3	25	2	28	2	3
平均	77.89	3.83	34.00	2.50	36.67	2.67	16	
第4分区分区	木更津	85.36	3	27	3	29	3	2
	上総	80.88	4	17	0	17	0	0
	富津	71.42	4	9	0	10	0	1
	富津中央	85.42	4	26	1	27	1	1
	木更津東	83.65	4	42	0	42	0	0
	君津	94.70	4	43	1	50	2	7
袖ヶ浦	95.70	4	23	3	25	3	2	
富津シティ	78.40	4	14	1	15	1	1	
平均	84.44	3.88	25.13	1.13	26.88	1.25	14	
第5分区分区	館山	88.44	4	56	3	55	3	△ 1
	鴨川	89.68	3	33	7	33	7	0
	勝浦	91.90	4	33	4	37	4	4
	千倉	70.00	3	10	2	10	2	0
	鋸南	84.60	3	14	1	13	1	△ 1
	館山ベイ	71.05	4	20	0	20	0	0
平均	82.61	3.50	27.67	2.83	28.00	2.83	2	
第6分区分区	茂原	96.74	4	64	3	66	3	2
	東金	96.87	4	22	1	21	1	△ 1
	大原	83.93	3	12	1	11	1	△ 1
	大多喜	66.66	4	6	1	6	1	0

分区分区	クラブ名	出席率 %	例数	会員数				
				7/1	女	当月	女	増減
第6分区分区	成田空港南	77.13	3	37	0	39	0	2
	茂原東	86.90	4	22	2	22	2	0
	茂原中央	86.77	4	13	2	17	2	4
	大網	80.00	4	29	1	30	1	1
	東金ビュー	74.60	3	20	1	21	1	1
	平均	83.29	3.67	25.00	1.33	25.89	1.33	8
第7分区分区	銚子	77.63	4	44	4	40	4	△ 4
	旭	73.20	4	43	2	45	3	2
	八日市場	71.92	4	38	2	40	2	2
	銚子東	72.65	4	39	2	37	2	△ 2
平均	73.85	4.00	41.00	2.50	40.50	2.75	△ 2	
第8分区分区	佐原	80.43	4	47	0	48	0	1
	多古	71.42	4	14	0	15	0	1
	小見川	87.91	4	22	0	23	0	1
	佐原香取	86.00	4	25	1	24	1	△ 1
平均	81.44	4.00	27.00	0.25	27.50	0.25	2	
第9分区分区	成田	68.55	4	61	0	58	0	△ 3
	八街	89.65	4	30	1	32	2	2
	印西	84.04	4	23	0	23	1	0
	白井	53.49	4	23	0	19	0	△ 4
	富里	71.65	4	27	0	30	0	3
	成田コスモポリタン	73.75	5	68	0	69	0	1
平均	73.52	4.17	38.67	0.17	38.50	0.50	△ 1	
第10分区分区	柏	79.20	4	51	10	56	9	5
	我孫子	79.16	4	24	1	24	1	0
	柏西	87.81	4	62	5	64	5	2
	柏東	85.48	4	29	3	33	4	4
	柏南	69.00	4	33	5	33	5	0
	平均	80.13	4.00	39.80	4.80	42.00	4.80	11
第11分区分区	習志野	83.18	4	27	1	26	1	△ 1
	八千代	83.00	3	46	0	49	0	3
	佐倉	60.87	4	18	2	23	3	5
	八千代中央	80.70	3	28	1	29	2	1
	四街道	77.78	4	23	2	25	2	2
	習志野中央	74.40	4	47	6	48	6	1
佐倉中央	61.90	4	19	3	21	4	2	
平均	74.55	3.71	29.71	2.14	31.57	2.57	13	
第12分区分区	松戸	86.48	4	57	0	57	0	0
	松戸東	90.07	4	46	0	46	0	0
	松戸北	83.48	4	37	0	38	0	1
	松戸中央	73.16	4	39	6	44	6	5
	松戸西	80.65	4	30	0	31	0	1
平均	82.77	4.00	41.80	1.20	43.20	1.20	7	
第13分区分区	野田	83.85	4	58	8	60	8	2
	流山	83.33	4	16	4	16	4	0
	野田東	82.14	4	31	0	27	0	△ 4
	流山中央	89.47	4	22	2	23	2	1
	野田セントラル	77.17	4	24	0	24	0	0
平均	83.19	4.00	30.20	2.80	30.00	2.80	△ 1	

クラブ数	84RC	2015年 7月 1日	地区会員数	2,711人	当月平均出席率	82.72%
		2016年 4月 末日	地区会員数	2,812人	増減	+101
		2015年 7月 1日	地区女性会員数	154人	女性会員増減	+14
		2016年 4月 末日	地区女性会員数	168人		

6月のロータリーレート

110円

広報のひろば

みなさん、こんにちは。いよいよ6月となりました。広報のひろばを1年間ご覧いただきありがとうございました。いかがだったでしょうか？

1年間、地区IT広報公共イメージ委員会にご協力いただきありがとうございました。

次年度の広報公共イメージ向上委員会もよろしくお祈りします。

おめでとうございます



市川シビックRC創立25周年記念式典
2016年4月2日(土)

おめでとうございます



館山RC創立60周年記念式典
2016年4月17日(日)

このページは地区IT広報公共イメージ委員会
で担当しています。何かございましたら気軽に
ご連絡ください♪

090-1453-5825 委員長 大谷京子
kyoko@ohkei.co.jp

おめでとうございます

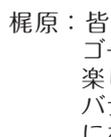


新千葉RC創立50周年記念式典
2016年4月20日(水)

幹事長と委員長のつぶやき



大谷：みなさま、1年間“広報のひろば”をお読みいただきありがとうございました！どうにか1年間発行できました♪



梶原：皆さんに支えて頂きやっとゴール出来そうです。とても楽しい一年間でした。櫻木ガバナーも喜んでます。本当にありがとうございました!!



大塚：次年度広報公共イメージ向上委員会の大塚です！次年度もよろしくお祈りします♪